

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月28日

計画の名称	且過地区の安全安心とにぎわいのあるまちづくり（防災・安全）														
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当		○		
交付対象	北九州市														
計画の目標	且過地区は北九州市の小倉都心部に位置しており、中でも且過市場は重要な商業核の一つとなっている。 しかしながら、隣接する神嶽川の流下能力不足に伴う浸水被害や、木造建築物の密集や老朽化など、防災面で多くの課題を抱えている。 このため、河川改修と一体となって、密集市街地の解消と公共施設の整備改善のため、土地区画整理事業を実施するもの。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,356	A	1,356	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度		令和12年度
1	北九州市地域防災計画に位置付けられている、本事業区域内における特定消防区域（火災危険度の高い区域）を解消する。 北九州市地域防災計画における特定消防区域で、小倉北区魚町地区2-1のうち、魚町四丁目1・2・4・5番の指定面積（2番は事業区域のみ） 当初現況値は、令和2年度末時点（事業計画時）で、同区域に位置付けられている事業区域内の宅地面積			
		5461㎡	㎡	0㎡

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		R07	R08	R09	R10	R11														
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	北九州市	直接	北九州市	－	－	都市再生土地区画整理事業（旦過地区）	地区面積 0.6ha	北九州市	■	■	■	■	■	1,356	2.32	－	
											小計							1,356		
											合計							1,356		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	479				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	479				
前年度からの繰越額 (d)	108				
支払済額 (e)	336				
翌年度繰越額 (f)	251				
うち未契約繰越額 (g)	5				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0.85				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 且過地区の安全安心とにぎわいのあるまちづくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	且過地区の安全安心とにぎわいのあるまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	R 7年度 ～ R 1 1年度（5年間）	交付対象	北九州市

